



熊野市立五郷小学校

# いさと小だより

学校づくりのテーマ「明日も来たいと思う学校」第14号 2021年3月25日



## 1年間 みんな よく頑張りました ～令和2年度修了式～

「みなさんは、この一年間、それぞれの学年の勉強や運動、友だちとの学校生活をしっかりとやり遂げました。4月からは一つ上の学年に進級します。」今日は本年度の修了式でした。



思い返しますと、本年度は開始1週間で新型コロナウイルス感染防止対策の臨時休校に入りました。子どもたちにとっては、「さあ、張り切っていこう!」とスタートしたばかりで、拍子抜けしたことがあります。それと、3月のようにまた家から出られない生活かと窮屈な気持ちを持ったかとも思います。休校は19日間に及びました。



5月中旬に学校が再開されて仕切り直し。全校で取り組んだ「サツマイモのつるの植え付け」が再出発の景気づけになりました。

日ごと暑さが増す中、マスクの着用は大変でしたが、子どもたちは我慢強く乗り越えてくれました。1学期間が延長され、夏休みが短縮される状況においても、先生と一緒に本当によく頑張った休校の遅れを取り戻してくれました。

秋には運動会が開催できました。リレーや障害物競走、ソーラン「よっちょれ」…、晴天の下、子どもたちは、のびのびと躍動しました。競技中はコロナ禍の制約から解放されたようなエネルギーが感じられました。今も思い浮かべると、自然と顔がほころびます。

11月には、「焼きいも集会&親子ドッジビー大会」で子どもたちの活動を観ていただくとともに親睦を深めていただきました。実りの秋、スポーツの秋を実感できる一日でした。

3学期。寒気の中、教室の「暖房と保湿、換気」、コロナ対策は続きました。“子どもは風の子”のとおりに、一輪車や縄跳び、野球やサッカー、子どもたちがすすんで運動場で遊ぶ姿が見られました。

マスクや手洗いの効果、外出を控えたことから、インフルエンザとは全く無縁だったのは、コロナ対策の大きなおまけであったと思います。

コロナ禍が未だに終息しませんが、子どもたちは一日一日を元気に活動し、この一年間で心も身体もひとまわり大きく成長したかと思えます。いつも健やかに登校できたのは、ご家庭でのあたたかい支え、そのご努力があったからこそだと思います。本当に有難うございました。また、来年度もどうぞよろしくお願い致します。

春休みは 3月26日(金)～4月5日(月)の期間です。

- コロナ感染防止対策をしながら、健やかな毎日を過ごしてください。
- 交通安全をはじめ、危険なことから身を守り、安全な毎日を過ごしてください。
- 新学期にいいスタートを切れるよう、リズムのある毎日を過ごしてください。

## 令和3年度4月の予定



日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	木	学年始休業日	17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	
4	日		20	火	
5	月		21	水	集金袋配布
6	火	着任式・始業式・入学式の準備	22	木	
7	水	入学式 10:00～	23	金	
8	木	職員街頭指導 2年生以上は給食開始	24	土	
9	金	2年生以上は平常授業(1年生は3限)	25	日	
10	土		26	月	
11	日		27	火	5・6年生の米作り体験(田植え)
12	月		28	水	
13	火		29	木	昭和の日
14	水	1年生も平常授業	30	金	
15	木				
16	金				

## 二人の旅立ちを祝って ～19日卒業式～

当日の朝、登校してきた愛来さんと雄樹さんの表情からは、卒業式に向けての緊張と最後の日に対する思いが伺えました。

卒業証書の授与。2人とも気持ちを集中していて、全身に神経の行き届いた動き。かつ硬さがなくて、たいへん好感の持てる所作でした。

在校生の別れの言葉。ともに過ごしたこの1年間を思い浮かべながら、二人に対する憧れ、賞賛、信頼、そして感謝の気持ちが、元気な声で伝えられました。

続いて、卒業生の別れの言葉。6年間の思い出、ドキドキの入学式と初めての一輪車(1年生)、頑張った九九と緊張した劇(2年生)、苦戦したリコーダーとわくわくの石倉美術館見学(3年生)、スト



ローを使った船作りとALTの先生との思い出(4年生)、「パプリカ」の演奏とエプロン作り、そして修学旅行(5年生)、を語りました。さらに、6年生で培った実行力や責任感、学習への意欲。みんなへの感謝と在校生への期待…。二人で堂々と6年間の思いを伝え切りました。とても立派でした。

卒業生も在校生も、一人ひとりがすべきことをしっかりとやり遂げ、そしてみんなの力を結集して“これまでの一番!”を出してくれました。とてもいい卒業式でした。

